

●プレゼンテーション

P/C 比が得られるマルティスティックス PRO の概要

○鈴木 続久(バイエルメディカル株式会社学術企画グループ)

はじめに

随時尿による蛋白検査は主に腎・尿路系疾患のスクリーニング検査として重要な位置を占めている。しかし一般的に用いられる随時尿の場合には、その濃縮度により結果が過小に評価されたり、過大に評価される可能性があります。尿の濃縮度の影響を補正する手段としてクレアチニン濃度を測定し、蛋白/クレアチニン (P/C) 比を算出ことが行われている。今回、尿蛋白のクレアチニン補正ができる多項目試験紙「マルティスティックスPRO」の概要を紹介する。

マルティスティックス PRO の概要

本試験紙は、蛋白質高濃度域と蛋白質低濃度域（アルブミン）の2つの試験部分が貼付され、測定結果は両試験部分の結果からひとつの判定値が得られる。蛋白質高濃度域は従来の蛋白質試験部分と同一で、総蛋白量として30mg/dL以上の領域の判定に用いる。蛋白質低濃度試験部分は、糸球体疾患との関連が明確なアルブミンを特異的に測定し、8~30mg/dLのアルブミン領域の判定に用いる。更

にクレアチニン試験部分が追加されて尿中クレアチニン濃度の測定ができ、尿蛋白の結果と併せて定性的に蛋白/クレアチニン (P/C) 比が算出できる (図1)。各検討成績によると、本試験紙のP/C比は尿蛋白検査の過小・過大評価を補正でき、また1日蛋白量のある程度推定可能である。本試験紙によるP/C比は早期腎疾患を適切にスクリーニングすることができるので今後の医療に貢献できるものと考ええる。

■ 蛋白質試験部分、クレアチニン試験部分と蛋白/クレアチニン比の結果判定

蛋白質高濃度域	陽性	30	100	300	1000*
蛋白質低濃度域	陽性	15			
クレアチニン	10	50	100	200	300
蛋白/クレアチニン比 (標準判定による表の結果)	Normal Dilute (再検査)	Normal (正常域)	150	300	>500

*標準判定の蛋白には1,000mg/dL (+++++) は表示しません。

連絡先 03-5423-1053